

《想定》 M6.8 震度7が若穂を襲った！！

== 8月29日、自主防災会などが防災訓練 ==

この日午前8:00、「長野県北部を震源とするマグニチュード6.8、震度7の地震が発生・・・」の防災無線を合図に「避難誘導訓練」「情報伝達訓練」がおこなわれました。後段は県危機管理防災課による「出前講座」。グループに分かれて避難所対応のための実践的訓練。参加者アンケート(回答108)では「非常に有意義だった」「有意義だった」が103名と高評価をえることができました。より実践的な訓練が必要です。



(防災関係者が一堂に集まり熱心に研修)

薄れゆく災害の記憶

【台風のダブル襲来】【松代群発地震】

●半世紀以上も前のことになりました。綿内、川田、保科の3か村が合併して若穂町が誕生した昭和34年(1956)、8月には7号台風(駿河湾台風)が、9月には15号台風が相次いで若穂を襲い家屋や農作物に大きな被害をもたらしました。(15号では綿内小体育館が倒壊)

●さらに、昭和40年(1965)には隣の松代町を中心とした群発地震が発生(松代群発地震)・・・。若穂も5年の長期にわたって地鳴り音を伴う地震の恐怖にさらされました。

●いつ起こるかわからない自然災害。最近の相次ぐ異常気象や、心配される大地震に備えて日頃の防災意識を高める必要があります。「若穂は大丈夫！」では済まされません。



松代群発地震では有感地震が6万回超(震度5が9回、4が48回、3が413回)。最大はM5.4で震度は5。校舎は古い木造でしたから、倒壊防止に太い丸太で補強しました。(写真は綿内小学校)



2年目の5月19日には、当時の佐藤栄作首相が来町して綿内小学校校庭で子どもたちや町民を激励。若穂にはそんな歴史があったのです。(写真は信毎発行「グラフ松代地震」から)

◆◆ 綿内小5年生MTさんの手記 ◆◆

(「グラフ松代地震」掲載の「じしんの記録」から引用)

「ゴーッ」という音とともに「ガタガタコトコト・・・」と家具がゆれる。電球もゆれる。時計は止まった。わたしたちにとって、忘れることのできない4月5日、午後5時51分である。その後も、こんな事がいく度もいく度も続いている。そのたびに、せなかが「すー」として、心ぞうがドキドキする。そして、思わず「はあー」とため息が出る。・・・」

長野市議選 地元、岡田荘史さん(小出)が見事6選

・9月13日投開票の今回選挙は、定数39に対して41人が立候補。若穂からは岡田さんが6選目に挑み、見事高位当選を果たされました。屋代線の跡地利用、スマートICや道の駅の設置、幹線道路の渋滞解消、少子高齢化対応、バス路線の維持、有害鳥獣対策など山積する地域課題・・・。行政と若穂地区のパイプ役としてますます期待が集まります。投票率は、残念ながら前回比△4.23%の42.09%でした。



増大する事務・事業に対応するため自治協組織のスリム化&機能化を進めます

9月理事会で「見直し案」をまとめる／来年4月の総会で決定し、28年度から実施する予定

若穂の住民自治協議会は平成20年2月に発足し8年目を迎えています。増大する一方の事務・事業に対応するため、組織のスリム化・機能化が必要となっています。これまでの内部検討をふまえて9月理事会で「見直し案」をまとめましたので、その概要を報告し皆さまのご意見を募ります。「見直し案」は11月理事会で最終的に検討を加え、来年4月の総会に諮って決定する予定です。



「8機関」を5つに削減／代表区長の役割を強める

- ①名称については「部会」→「委員会」の構成とする（住民自治協議会の中の機関として名称の整合性を図る）
- ②「8実施機関」の内、次の3機関を廃止し必要な事業・機能は区長部会の中に新たな委員会を設けて継承する（住民自治協議会を持続し、さらに発展させるために代表区長：区長部会の機能役割を強める）
 - 地域開発推進委員会→→地域開発委員会を設け、3地区の開発委員会や未来会議などの連携、調整を図る
←←副区長会長2名がこの委員会を主導する
 - 環境美化委員会→→環境美化委員会を設け、河川清掃など必要な事業を推進する（自治区毎に選出される環境美化委員はそのまま継続）←←代表区長の2名がこの委員会を担当する
 - 人権同和教育促進協議会——人権同和教育促進委員会を設け、人権集会など必要な事業を推進する←←代表区長の2名がこの委員会を担当する
- ③各機関は、組織をスリム化するための構成役員等の見直しを図る
- ④機関独自の総会の廃止や、イベントを他機関との合同にするなど事務を軽減化するための見直しを図る

現 在	新 名 称	見直しのポイント	代表区長の関わり
区長会	区長部会	部会内に3つの委員会を新設 (地域開発委員会)————→ (環境美化委員会)————→ (人権同和教育促進委員会)→	部会は区長会長が主導 副区長会長2名が主導 代表区長2名が担当 代表区長2名が担当
地域開発推進委員会		廃止(区長部会で継承)	
環境美化委員会		廃止(区長部会で継承)	
福祉保健委員会	福祉保健部会		
社会福祉協議会	社会福祉部会		代表区長3名が参画
人権同和教育促進協議会		廃止(区長部会で継承)	
地域公民館連絡協議会	地域公民館部会		代表区長1名が参画
子育て青少年育成協議会	子育て青少年部会		代表区長1名が参画

✍️「見直し案」に対するご意見があれば、11月の理事会までに代表区長または事務局(☎ 050-3583-5700 若穂有線 2062)までお寄せください。

保科、川田、綿内田中区を対象におこなった保科温泉線利用者アンケートへのご協力ありがとうございました。今後、市との協議に反映されます。

「第4回ながのとびっくらん in わかほ」(石田治実行委員長)は11月1日(日)。9:30スタートです。資金カンパ、当日の運営や沿道応援、よろしくお願ひします。